

メールマガジン埼玉県議会



発行：埼玉県議会



No.316 2020.9.14

県議会テレビ番組「こんにちは県議会です」 9月13日(日曜日)放送「常任委員会だより1」

県議会広報テレビ番組「こんにちは県議会です」(テレビ埼玉)では、各定例会の様様や主要会派代表者のインタビューなど県議会に関するさまざまな情報を放送しています。

今号のメールマガジンでは、ご覧になれなかった方のために、9月13日(日曜日)に放送した「常任委員会だより1」の内容をお伝えします。

話のお相手は、テレビ埼玉の荒木優里アナウンサーです。



[☆放送スケジュールなど詳しくは、県議会のホームページをご覧ください。>>](#)

INDEX



県議会広報

こんにちは県議会です
「常任委員会だより1」

- 企画財政委員会 吉良英敏委員長
- 総務県民生活委員会 藤井健志委員長
- 環境農林委員会 内沼博史委員長
- 福祉保健医療委員会 美田宗亮委員長

議会中継サイト更新のお知らせ



議事堂の花

生け花のご紹介



県議会広報

【こんにちは県議会です「常任委員会だより1」】

〈企画財政委員会〉

企画財政委員会は、県の歳入や、企画財政部、会計管理者、監査委員・選挙管理委員会に関する事柄を所管し、県行政の総合的企画や調整、行政改革の総合的な推進、地方分権の推進、交通政策の推進などについて審査を行う委員会です。

委員長 企画財政委員長の吉良英敏でございます。企画財政委員会は、まず県の財政そして総合的企画を担当する委員会でございます。県の行政を横断的に見渡し、また限りある財源を有効に活用できるようにしっかりと審議を行っております。どうぞよろしくお願いたします。



—県の財政についてお考えをお聞かせください。—

委員長 県の財政につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大によって、人々の移動あるいは経済活動が制限され、県内経済への影響が非常に顕在化しています。県税の減収あるいは感染症対策による支出の増加がしばらく続くと思われますので、地に足の着いた対策を講じていかなければなりません。これからの対策に関しましては、以前から論議してまいりました財政調整基金を含め、中期的な視点を持って、執行部と論議を交わしていく必要があると思っております。持続可能な財政運営を行うため、しっかりと目配りをしてまいります。

—公共交通についてはいかがでしょうか。—

委員長 これは、将来の人口減少や高齢化、新技術の動向を十分に把握した上で、交通のさらなる利便性を図る必要があると思っております。これらの課題の整理あるいは方向性の検討に当たっては、できるだけ透明性を確保して進めることが重要です。

また、地域の皆さんの移動手段でもあるバス路線、こういったものを維持そして確保していくことが大変重要だと考えています。特に、今回の感染症に関わる外出自粛の影響で収入が減少したバス路線について、運行費用を補助するなどの支援も行っております。

—行政改革についてはいかがでしょうか。—

委員長 今回の感染症対策として、県庁でもテレワークが推進されました。これを機に、WEB会議であったり、ICTツールを活用して時間や場所に制約されない働き方改革を進めていくことを考えています。テレワークは、子育てや介護を行う職員が柔軟な働き方をすることができたり、業務の効率化の面でもとても有効だと思っております。県が率先して取り組むことで、民間企業にも波及していくことを期待しています。

—今後の抱負をお聞かせください。—

委員長 企画財政委員会では、担当する所管はもとより、県全体の予算に目を配り審査をしなければならない委員会です。新型コロナウイルス感染症をきっかけに、生活様式が変わり、働き方が変わり、社会が大きく変容し

ようとしています。このような中にあっても活力ある埼玉を維持し、さらに発展させる契機となるよう、委員一同、活発な論議をしてみたいと思っております。

[▲トップへ](#)

〈総務県民生活委員会〉

総務県民生活委員会は、総務部、県民生活部、人事委員会、ほかの常任委員会に属さない事柄を所管し、スポーツの振興、県政の情報発信、県行政資源の総括、私学の振興や県税、青少年、防犯のまちづくりなどについて審査を行います。

委員長 委員長の藤井健志です。総務県民生活委員会は名称が示すとおり、県民生活に関わりが深く、かつ幅広い分野を担当する委員会です。委員一同全力で取り組んでおります。どうぞよろしくお願いいたします。



—委員長として、どのような分野に力を入れて取り組まれているのでしょうか。—

委員長 今回、新型コロナウイルス感染症の対応を通じて、県民の皆さまが安心して生活するために、正しい情報を迅速にお伝えすることの重要性を改めて強く認識しました。感染の状況や支援の情報など目まぐるしく情報が更新されていますが、県のホームページやソーシャルメディアの活用を含めて、分かりやすくお伝えできているのか、しっかりと確認してみたいと思います。

—情報を正しく、分かりやすく伝えることは重要ですね。そのほかにはありますか。—

委員長 今回の感染症による外出自粛や休業が行われる中、生活不安やストレスからのDVや児童虐待の増加が懸念さ・黠ります。関係する機関の連携や心のケアも含めて支援をしていくことが大切です。

—このほかにはいかがですか。—

委員長 日本では、行政のIT・デジタル化を進めるデジタルガバメントの実現に向けて取り組んでおります。こうした取り組みの必要性はコロナ以前から言われておりましたがさらに加速させる必要があります。県民の皆さまからの問い合わせに自動で応える取り組みなど、すでに開始しているサービスもあります。今後、事務や手続きを見直すことで、テレワークで行える業務の拡大によって働き方改革を推進したり、行政手続きのオンライン化や簡素化を進め、いつでも、どこでも、そして誰でも行政手続きが行えるようにし、県庁の取り組みとその成果を、県民サービスに広げていかなければならないと思っております。

—東京オリンピック・パラリンピックが1年延期されましたね。—

委員長 本県の競技会場は四つで、開催地東京に次いで2番目です。経費削減や新型コロナウイルス感染症予防のため、大会の簡素化に向けた調整など課題はたくさんあります。やるからには今年ご活躍いただく予定だった5,400人の都市ボランティアや観戦を予定されていた方を含め、大会への期待にしっかりと応えていきたいと思っております。

[▲トップへ](#)

〈環境農林委員会〉

環境農林委員会は、環境部、農林部、内水面漁場管理委員会に関する事柄を所管し、環境保全対策の推進、廃棄物対策、地球環境の保全の推進、農林水産業の振興、農林水産物の品質や安全性の確保などについて審査しています。

委員長 委員長の内沼博史です。このたびの新型コロナウイルス感染症や令和元年東日本台風、CSFの発生により厳しい状況に置かれている農林畜産業を営んでいる方々への支援に力を入れていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



—農業分野について、委員長のお考えをお聞かせください。—

委員長 県産農産物のブランド化を進めつつ差別化を図っていくべきだと思います。例えば、埼玉県産米の「彩のきずな」は平成29年度に特A評価を取りました。また、埼玉県オリジナルのイチゴ「かおりん」「あまりん」もあります。新型コロナの影響で売上が大きく落ちこんだ和牛やお茶などと合わせて、インターネットでの販売を支援していきたいと考えています。

—林業分野についてはいかがでしょうか。—

委員長 県内の人工林の約8割が木材として利用可能な時期に達している一方、伐採される人工林が少ない状況となっています。そのため、県では、再生可能な森林資源を「切って・使って、植えて、育てる」循環利用を推進し、森林を健全な状態に保全することに努めています。しかし、県産木材の利用がまだまだ少ない状況です。そこで、耐火性・耐震性に優れたこのようなCLTと呼ばれる新たな木質部材を活用することが、林業の活性化につながるのではないかと考えております。

—環境分野についてはいかがでしょうか。—

委員長 太陽光パネルの耐用年数は20年から30年程度とされており、今後、使用済み太陽光パネルの大量廃棄が想定されます。関係事業者による回収や適正処理やリサイクルに努めることで、循環型社会の構築を推進してまいります。太陽光発電施設の設置については、周辺住民の理解を得た上で開発などが行われるよう、対応していくことも必要だと考えております。

—ほかには何かありますか。—

委員長 野生鳥獣の対策も考えなくてはなりません。野生生物の適切な保護管理を実施し、生態系の保全はしなければなりません、それと同時に、野生鳥獣による農作物被害への対策も講じる必要があります。

環境や農業・林業といった分野は私たちの生活に密接に関わるものです。これらが抱えるさまざまな問題に対し、委員一同しっかりと取り組んでまいります。

[▲トップへ](#)

〈福祉保健医療委員会〉

福祉保健医療委員会は、福祉部、保健医療部、病院局に関する事柄を所管し、児童・高齢者・障害者福祉の推進、地域医療体制の整備拡充、病院事業の運営状況などについて審査を行います。

委員長 委員長の美田宗亮です。急速な少子高齢化に対応するため、10年先20年先を見据えて、子育て支援や医療・福祉の充実に積極的に取り組んでおります。どうぞよろしくお願いいたします。



—医療の関係についてお考えをお聞かせください。—

委員長 まず取り組むべき新型コロナウイルス感染症に対する医療体制・検査体制の整備についてです。感染ピークに備えて必要な対策はすべて行わなければなりません。特に検査体制については、医師の考え方や医師会との調整も必要になると思います。より実効性のある体制になるように委員会からも提案していきたいと思っております。

—福祉分野についてはどのようにお考えですか。—

委員長 埼玉県は若い県だと言われておりますが、今後、全国トップレベルのスピードで高齢化していきます。そのため、高齢者に対する支援は重要だと考えております。元気な高齢者の皆さまが、社会の担い手として就業やボランティア活動などさまざまな分野で活躍できるような支援が必要です。また、要介護者とならないよう、健康を維持するための施策の推進も必要だと思います。介護が必要になってしまっても、住み慣れた地域で暮らしを支える地域包括ケアシステムの構築を進めるため、地域格差がでないよう市町村を支援していくことが必要だと思います。

—ほかにはありますか。—

委員長 子育て中の人たちが、全ての環境が整った中で子育てをしているわけではありません。子どもを産み育てることに希望の持てる社会づくりを進めることが大切です。妊娠から子育ての時期にかかる切れ目のない支援体制の整備を進めることが重要です。また、児童虐待の事案が増え続けております。子どもたちの命を守る対策も進めてまいります。

—今後の抱負をお聞かせください。—

委員長 社会的に弱っている人や立場的に厳しい人、助けを必要とする人
たちを支援するための委員会だと思っております。ニーズは千差万別で個
別対応は難しいですが、県ができることをしっかりと見極め、スピード感
を持って対応できるよう委員一同全力で取り組んでまいります。

[▲トップへ](#)

◆◆議会中継サイトでもご覧になれます！◆◆

メールマガジン313号で紹介をさせていただいた「主要会派代表者に聞く1」が、
[「埼玉県議会中継」サイト](#)でもご覧いただけます。

この機会にぜひご覧ください。




【出演議員】

埼玉県議会自由民主党議員団
小島信昭 団長

無所属県民会議
岡 重夫 代表



[▲トップへ](#)

 議事堂の花

このコーナーでは、議事堂ホールに飾られた生け花をご紹介します。

【協力 埼玉県いけばな連合会】



◆展示期間

7月27日～7月31日

◆作者

成月流 半井梨芳様

◆花材

ナツハゼ、デルフィニウム、ヒマワリ、トルコキキョウ、レインボーファン

◇◆生け花の作者の方にお聞きしました！◆◇



〈成月流 半井梨芳様〉

Q: 作品のテーマを教えてください。

A: 涼しげな印象を与えてくれるよう生けました。鮮やかな黄色のヒマワリと寒色の花を合わせ、夏らしさを感じていただける作品に仕上げました。

Q: デルフィニウムには、淡い青色と濃い青色のものがあるのですね。

A: 手前に生けたデルフィニウムは、後方に生けている花よりも薄い色のものを使っています。濃い色の花を手前に生けるよりも、作品がよくまとまります。

☆現在展示中の作品や過去の展示作品は、県議会ホームページでご覧になれます。》

[▲トップへ](#)

【注意】

●メールマガジンにおいて氏名の一部にJIS規格第1・第2水準にない文字がある場合、第1・第2水準の漢字で表記しています。

【お問い合わせ】

●[「メールマガジン埼玉県議会」の登録・解除はこちらから》](#)

※登録事項(メールアドレスなど)を変更する場合には、お手数ですが、変更前のメールアドレスを一度解除してから新規に登録してください。

●「メールマガジン埼玉県議会」についてのお問い合わせ・感想はこちらまで！

E-mail a6250-03@pref.saitama.lg.jp

埼玉県議会事務局政策調査課

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1 電話 048-830-6257 / FAX 048-830-4923



